



Hewlett Packard
Enterprise

HPE iLO 5 1.40 リリースノート

部品番号: 880725-196
発行: 2019 年 2 月
版数: 1

ご注意

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise 製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise から使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商業用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーション、および商業用製品の技術データ (Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items) は、ベンダー標準の商業用使用許諾のもとで、米国政府に使用許諾が付与されます。

他社の Web サイトへのリンクは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイトの外に移動します。Hewlett Packard Enterprise は、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト以外の情報を管理する権限を持たず、また責任を負いません。

商標

Microsoft[®] および Windows[®] は、米国および/またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

Java[®] および Oracle[®] は、Oracle および/またはその関連会社の登録商標です。

Google[™] は、Google Inc. の商標です。

Linux[®] は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

Red Hat[®] は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. の商標または登録商標です。

SD は SD-3C の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

VMware[®] は、VMware, Inc. の米国および各国での登録商標または商標です。

説明

iLO 5 は、HPE ProLiant サーバーおよび Synergy コンピュートモジュールのシステムボードに組み込まれたリモートサーバー管理プロセッサです。iLO では、リモートの場所からサーバーを監視および制御できます。iLO 管理は、サーバーをリモートで構成、更新、監視、および修復するための複数の方法を提供する強力なツールです。iLO (Standard) は、追加コストまたはライセンスなしで Hewlett Packard Enterprise サーバーに事前設定されています。

サーバー管理者の生産性を向上させる機能と追加の新しいセキュリティ機能がライセンス付与されています。詳しくは、<http://www.hpe.com/support/iLO-docs> にある iLO ライセンスガイドを参照してください。

アップデートの推奨事項

アップデートの推奨事項：推奨

旧バージョン情報

置き換えられるバージョン：1.39

製品

このリリースは、製品 HPE iLO 5 に適用されます。

サポートされるデバイス

このバージョンの iLO 5 ファームウェアは、次のサーバーモデルでサポートされます。

- ・ HPE ProLiant ML30 Gen10 サーバー
- ・ HPE ProLiant ML110 Gen10 サーバー
- ・ HPE ProLiant ML150 Gen10 サーバー
- ・ HPE ProLiant ML350 Gen10 サーバー
- ・ HPE ProLiant BL460c Gen10 サーバー
- ・ HPE ProLiant DL20 Gen10 サーバー
- ・ HPE ProLiant DL120 Gen10 サーバー
- ・ HPE ProLiant DL160 Gen10 サーバー
- ・ HPE ProLiant DL180 Gen10 サーバー
- ・ HPE ProLiant DL325 Gen10 サーバー
- ・ HPE ProLiant DL360 Gen10 サーバー
- ・ HPE ProLiant DL380 Gen10 サーバー
- ・ HPE ProLiant DL385 Gen10 サーバー
- ・ HPE ProLiant DL560 Gen10 サーバー
- ・ HPE ProLiant DL580 Gen10 サーバー
- ・ HPE ProLiant XL170r Gen10 サーバー
- ・ HPE ProLiant XL190r Gen10 サーバー

- ・ HPE ProLiant XL230k Gen10 サーバー
- ・ HPE ProLiant XL270d Gen10 サーバー
- ・ HPE ProLiant XL420 Gen10 サーバー
- ・ HPE ProLiant XL450 Gen10 サーバー
- ・ HPE Synergy 480 Gen10 コンピュートモジュール
- ・ HPE Synergy 660 Gen10 コンピュートモジュール

オペレーティングシステム

このバージョンの iLO 5 ファームウェアは、次のオペレーティングシステムを搭載するサーバーで検証されました。

- ・ Microsoft Windows Server 2012
- ・ Microsoft Windows Server 2012 Essentials
- ・ Microsoft Windows Server 2012 R2
- ・ Microsoft Windows Server 2016
- ・ Microsoft Windows Server 2019
- ・ Red Hat Enterprise Linux 7.6
- ・ SUSE Linux Enterprise Server 12 SP3
- ・ SUSE Linux Enterprise Server 12 SP4
- ・ SUSE Linux Enterprise Server 15
- ・ VMware vSphere 6.7 U1、6.5 U2、6.0 U3

ブラウザ要件

サポートされるブラウザ

iLO 5 は以下のブラウザの最新バージョンをサポートします。

推奨ブラウザ

- ・ Google Chrome モバイルおよびデスクトップ
- ・ Mozilla Firefox
- ・ Microsoft Edge

Chrome、Firefox、Edge が iLO 5 で最高のパフォーマンスを提供します。

レガシーブラウザ

Microsoft Internet Explorer 11

必要な設定

以下の設定が有効でなければなりません。

- ・ **JavaScript** - iLO Web インターフェイスは、クライアントサイド JavaScript を広範に使用します。

この設定は、すべての Internet Explorer バージョンではデフォルトで無効です。構成の手順については、iLO のユーザーガイドを参照してください。

- ・ **Cookies** - 一部の機能が正常に動作するために、Cookie を有効にする必要があります。
- ・ **ポップアップウィンドウ** - 一部の機能が正常に動作するために、ポップアップウィンドウを有効にする必要があります。ポップアップブロックが無効になっていることを確認してください。
- ・ **TLS** - iLO の Web インターフェイスにアクセスするには、ブラウザで TLS 1.0 以降を有効にする必要があります。

言語

このリリースでサポートされる言語：

- ・ 英語
- ・ 日本語
- ・ 簡体字中国語

機能強化

次の機能強化は iLO 5 1.40 の一部です。

- ・ **メンテナンスウィンドウはファームウェア & OS ソフトウェアセクションで編集できます。**
- ・ **アクセス設定ページのパスワードの複雑さ設定は次のとおりです。**

この機能を有効にすると、新しいまたは更新したユーザーアカウントパスワードには、次の特性のうちの 3 つが含まれる必要があります。

 - 少なくとも 1 つの大文字 ASCII 文字
 - 少なくとも 1 つの小文字 ASCII 文字
 - 少なくとも 1 つの ASCII 数字
 - 少なくとも 1 つの他の文字タイプ（記号、特殊文字、句読点など）。
- ・ **アクセス設定ページの外部モニターにサーバーヘルスを表示** 設定は次のとおりです。
 - この設定が有効になっている場合は、サーバーの UID ボタンを押して放して、外部モニターにサーバーヘルスマリ画面を表示できます。
 - この設定が無効になっている場合は、サーバーの UID ボタンを押して放しても、サーバーヘルスマリ画面は開きません。
- ・ **アクセス設定ページのダウングレードポリシー設定は次のとおりです。**

iLO から更新できるファームウェアタイプをダウングレードする要求を iLO がどのようにして処理するかを指定します。

△ 注意: この設定を構成すると iLO に対して永続的な変更が行われます。永遠にダウングレードを禁止するよう iLO を構成した後は、iLO のどのインターフェイスやユーティリティからもこの設定の構成を変更することができなくなります。iLO を出荷時のデフォルト設定に設定しても、この値はリセットされません。

- ・ **アクセス設定ページの仮想 NIC 設定**（デフォルトでは無効）は次のとおりです。

この機能により、ホストのオペレーティングシステムから iLO に安全にアクセスできます。

- ・ **One-button セキュア消去** - この機能は iLO RESTful API および Intelligent Provisioning で使用できます。この機能を使用すると、サーバーを使用停止にしたり、別の使い方のために準備したりできます。
- ・ **LDAP/ディレクトリ設定** - Redfish コマンドを使用してこれらの設定を構成できるようになりました。
- ・ **セキュリティダッシュボード** - 重要なセキュリティ機能のステータスを表示したり、潜在的なリスクがあるかどうか設定を評価したりします。リスクが検知されたら、詳細情報とシステムセキュリティを向上させる方法についてのアドバイスを見ることができます。
- ・ **キーマネージャーサポート**は次のとおりです。
 - Utimaco Enterprise Secure Key Manager (ESKM) 4.0 以降

注記: ESKM を使用する場合は、更新されたコード署名証明書が含まれているソフトウェアアップデートを必ずインストールしてください。必要なアップデートをインストールしないと、ESKM は 2019 年 1 月 1 日後に再起動するとエラー状態になります。詳しくは、**ESKM のドキュメント**を参照してください。

- SafeNet AT KeySecure G350v 8.6.0 以降
- Gemalto SafeNet KeySecure 8.9.0 以降
- ・ **SSD ドライブ情報** - SSD ドライブの電源オン時間、推定される残り寿命、および残り寿命が**ストレージ情報**ページに表示されます。
- ・ Intelligent System Tuning メニューの新機能は次のとおりです。
 - **パフォーマンス監視** - Innovation Engine のサポートによってサーバーでサポートされたセンサーから収集したパフォーマンスデータを表示します。収集したデータに基づいてアラートを構成できます。
 - **ワークロードパフォーマンスアドバイザー** - 選択されたサーバーワークロード特性を表示します。監視対象データに基づき、推奨のパフォーマンスチューニング設定を表示したり、構成したりできます。
- ・ **新しい HTML5 IRC 機能サポート**は次のとおりです。
 - 仮想電源および環境設定メニュー
 - ステータスバー (POST コードの表示など)
- ・ **Active Health System** - InfoSight に最適化された Active Health System のダウンロードをサポートします。

修正点

次の問題が iLO 5 1.40 で解決されました。

- ・ 遅延した電源装置のステータスが変化する。
- ・ 特定の PCI カードが取り付けられていると、**デバイスインベントリ**ページで解析エラーが発生する (Internet Explorer のみ)。
- ・ セキュリティの修正 : HPESBHF03907
詳しくは、<https://support.hpe.com/hpesc/public/home> の Web サイトを参照してください。
- ・ さまざまな iLO Web インターフェイスが修正されました。

問題と回避策

- ・ iLO が高度なセキュリティ状態を使用するように構成されている場合、認証をサポートする Smart コンポーネントが使用できるようになるまで、ファームウェアの更新は iLO の Web インターフェイスから実行するか、iLO RESTful API を介して実行する必要があります。
 - ・ USB Ethernet アダプターで iLO サービスポートに接続するには、ASIX Electronics Corporation の AX88772 シリーズ チップセットに基づいた USB 2.0 デバイスを使用する必要があります。
Hewlett Packard Enterprise は、Ethernet アダプターに HPE USB（部品番号 Q7Y55A）を使用することをおすすめします。
 - ・ サーバープラットフォームサービス（SPS）ファームウェアまたはイノベーションエンジン（IE）ファームウェアを更新する際は、サーバーの電源を切る必要があります。サーバーの電源を切った後、30 秒待ってから SPS または IE ファームウェアの更新を開始してください。
 - ・ iLO 5 のリリースでは、iLO Web インターフェイスの機能のいくつかは、RIBCL または CLI でサポートされていません。特に、iLO セキュリティ状態を設定したり、拡張されたユーザー権限を構成したりする場合、Hewlett Packard Enterprise では、代わりに iLO RESTful API の使用をおすすめします。
iLO RESTful API は、Gen10 およびそれ以降のシステム用の、優先プログラムインターフェイスです。優先 CLI およびスクリプティングツールは、RESTful インターフェイスツール（iLOREST）です。
 - ・ iLO 5 1.20 以降の SNMP 設定は、iLO ファームウェアの旧バージョンとの下位互換性はありません。ファームウェアを旧バージョンにダウングレードすると、SNMP の設定は破棄されます。
 - ・ iLO 5 1.40 のドキュメントで記述された一部の機能は、あらかじめ有効になっています。これらの機能の使用は、2019 年 4 月に使用できるようになるファームウェアまたはソフトウェアによって決まります。
 - Intelligent Provisioning を介して One-button セキュア消去にアクセスするには、Intelligent Provisioning が 3.30 以降である必要があります。
 - **セキュリティダッシュボード** ページにセキュア設定ロック情報を表示するには、システム ROM のバージョンが Intel ベースのサーバーには 2.00、AMD ベースのサーバーには 1.40 である必要があります。
 - Intelligent System Tuning メニューの下にあるパフォーマンス監視とワークロードパフォーマンスアドバイザーのページにアクセスするには、Innovation Engine ファームウェアのバージョンが 2.0.11 である必要があります。
- ファームウェアとソフトウェアのアップデートについては、Web サイト <http://www.hpe.com/support/ilo5> を確認してください。
- ・ この機能をサポートしないサーバーで iLO サービスポートのページが表示されます。

前提条件

iLO ユーティリティ

最適なパフォーマンスを実現するために、Hewlett Packard Enterprise では次のバージョンの iLO ユーティリティをおすすめします。

ユーティリティ	バージョン
RESTful インターフェイスツール (iLOREST)	2.3 以降
HPQLOCFG	5.2 以降
Lights-Out XML スクリプティングサンプルバンドル	5.10.0 以降
Windows 用 HPONCFG	5.3.0 以降
Linux 用 HPONCFG	5.4.0 以降
LOCFG.PL ¹	5.10.0 以降
HPLOMIG	5.2.0 以降

¹ Lights-Out XML スクリプティングサンプルバンドルで入手できます。

ライセンス

一部の機能は、iLO ライセンスパッケージに含まれます。iLO ライセンスについては、Web サイト <http://www.hpe.com/support/ilo-docs> にある HPE iLO ライセンスガイドを参照してください。

セキュリティに関するベストプラクティス

セキュリティのベストプラクティスに関する最新情報は、Web サイト <http://www.hpe.com/support/ilo-docs> にある HPE Integrated Lights-Out セキュリティテクノロジー概要を参照してください。

インストール手順

インストール手順については、次のドキュメントを参照してください。

HPE iLO 5 ユーザーガイド

部品番号 ; 869840-195

版数 : 1

関連情報

iLO 5 の最新ドキュメントは <http://www.hpe.com/support/ilo-docs> で入手できます。

ドキュメントに関するご意見、ご指摘

Hewlett Packard Enterprise では、お客様により良いドキュメントを提供するように努めています。ドキュメントを改善するために役立てさせていただきますので、何らかの誤り、提案、コメントなどがございましたら、ドキュメントフィードバック担当 (docsfeedback@hpe.com) へお寄せください。この電子メールには、ドキュメントのタイトル、部品番号、版数、およびドキュメントの表紙に記載されている刊行日をご記載ください。オンラインヘルプの内容に関するフィードバックの場合は、製品名、製品のバージョン、ヘルプの版数、およびご利用規約ページに記載されている刊行日もお知らせください。